

熊本県立
1995.6
大学学報

第4号

春

秋

shunjiūsai

彩



春秋彩とは

「万葉集」の額田王の春秋を論じた歌の詞書「春山の万花の艶と秋山の千葉の彩」から採ったもの。

「春秋」には年月の意味もあり、「春秋に富む」若者を彩る学園の四季を表している。

平成7年4月12日 熊本県立劇場
平成7年度 熊本県立大学入学式の様子

瘦せたソクラテスから

熊本県立大学長 手島 孝

キャンパスを闊歩する新入学生の皆さんの姿がまぶしい季節となりました。46年前の自分が二重写しになってきます。

敗戦後、日なお浅く、街には未だそこかしこに空襲の焼け跡が残っていました。公職追放の親父が始めた武家の商法を唯一人のパートナーとして手伝わねばならなかった16歳の私には、当時住んでいたF市のQ大学に籍を置く以外の選択はありませんでした。筆舌に絶する食料難で、いつも痩せ狼のように腹はぺこぺこ。着るものもなく、たまたま安く入手できただぶだぶの復員兵隊服を年か

ら年中着た切り雀、履き物はちびた下駄でした。

しかし、武士は食わねど高楊子、暮らしは低くとも心は高くの気概だけは持っていたと思います。課業の法学のほか、未知の新しい自分の勉強をしようと勇み立ちました。

一つは哲学。西田幾多郎など覗いてみてもさっぱり判らず絶望感に陥っていた折、Y教授の講義で眼を開かれました。奇しくもそれは、後に私自前の学問観の批判的出発点となるデカルトを取り上げたものでした。

今一つは英語以外の外国語。大学の正規の授業で学べる絶好の機会とばかり、無理して独仏2ヶ国語に挑みました。ゲーテが、外国語を識らぬ者は自国語も本当には判らないと言ったとか知ったのも、その時でした。



学長 手島 孝

新体制、新制度、変革の道を進むキャンパスには 梅雨晴れの爽やかさに似た輝きがあります。

平成7年度入学式

入学者数481名(男性167名、女性314名)

熊本県立大学としてスタートして2回目の入学式が、4月12日(水)熊本県立劇場において、新入生481名の他、多数の保護者、学校関係者の参加のもとで行われた。

式では手島学長が「県立大学こそ、新時代の学問の構築にふさわしい場であり、諸君の双肩にかかる期待と責務は大きい」と式辞が贈られ、続いて福島知事から「本日の感激を忘れることなく、お互いに切磋琢磨しながら、力強さと優しい心を併せ持った21世紀を担う若者になって欲しい」と告辞があり、県会議長から祝辞が述べられた後、新入生を代表して文学部の秋月大輔さんが「私たちは、自分の考えを实践し、迷ったり恥をかいいたりしながら、人間の枠組みを広げていき

と思う。卒業する時には、笑顔で大学の門を出ていけるよう、今後努力していきたい」と宣誓した。

新しいスーツの中に希望を抱いた学生と共に、県立大学はあらゆる可能性へ向けてスタートをきった。

本年度の入学者数は、文学部88名、生活科学部81名、総合管理学部300名、大学院12名。県内生の割合は、前年46.2%から56.1%と増加した。また、合格、入学者についても同様に県内生の割合は増加している。

入学者における現役率については、文学部では前年比0.4%増、生活科学部

では7.7%増、総合管理学部では8.4%減、総数でみると、全体として3.7%減少している。これは、平成6年度の前年比10.8%減に続き、2年連続での減少となっている。

入学者における男性数については、文学部では10名で前年から3名増、生活科学部では12名で前年から9名増、総合管理学部では144名で前年から18名増となっており、大学全体で増加傾向にある。

本年度本学は、1,396名の学生(男性303名、女性1,093名)で新しい年度を迎えた。



学部・学科	定員	志 願		合 格			入 学					
		特別選抜	一般選抜	特別選抜	一般選抜	競争率	特別選抜	一般選抜	県内数	現役数	男性数	
文学部	日文	40	25	566	5	44	9.2	5	39	21	33	6
	英文	40	22	508	5	48	7.5	5	39	24	34	4
	計	80	47	1074	10	92	8.3	10	78	45	67	10
生活科学部	食栄	40	22	325	7	39	6.1	7	34	15	31	2
	生環	40	3	214	1	51	4.2	0	40	21	28	10
	計	80	25	539	8	90	5	7	74	36	59	12
総合管理学部	総管	280	110	1239	57	309	3.2	56	244	175	162	144
	計	280	110	1239	57	309	3.2	56	244	175	162	144
合 計	440	182	2852	75	491	4.5	73	396	256	288	166	

平成7年度入試概要

授業公開講座開講式開催

平成7年度の熊本県立大学授業公開講座の開講式が、4月7日本学で行われ全受講者の約6割に当たる90名が出席した。本学の公開講座は、社会人を対象とし、正規の授業を学生たちと一緒に受講できるもので、6年目を迎える。本年度は右記一覧の通り、57の講座が開かれている。受講生は148名。開講式では手島学長の挨拶の後、受講生代表の福本徳長さんに受講票が手渡された。最後に各講師の自己紹介があり、講座の概要の説明等が行われた。

受講者の年齢層は、20代から70代まで幅広く、年代別では40代が一番多い。延べ受講者数は259名で、昨年の198名を上回っている。また、延べ申込者数は昨年の299名から351名と増加しており、公開講座に対する関心が高くなっている。



94年度就職状況と来年度の傾向と対策

氷河期という言葉に代表されるとおり、昨今の就職戦線は非常に厳しいものがある。平成6年度の本学の就職状況を見ると、就職率は全体で84.0%（前年82.2%）で民間企業79.3%（ \uparrow 77.4%）、公務員56.1%（ \uparrow 74.4%）、教員52.2%（ \uparrow 60.0%）となっており、民間企業への就職は、前年を2ポイント上回り健闘したが、公務員、教員は厳しい競争率を反映した結果となった。

また、不況といわれる中で就職環境も様変わりしており、企業は、一括採用方式から、にわかに入社採用に変わりつつあり、学歴よりも人柄、考え方等大学で何を学んだのかという学習歴重視で採

[講座名一覧]

区分	講義名	講師
外国語	1 英語 A	Kirk, Daniel T.
	2 英語 A	Kirk, Daniel T.
	3 英語 A	Tomlinson, David
	4 英語 I	Worthington, Cynthia
	5 英語 I	Melton, Jay
	6 英語 I	重松 隆矣
	7 英語 B	Worthington, Cynthia
	8 ドイツ語 A	古賀 允洋
	9 ドイツ語 A	元吉 瑞枝
	10 実用ドイツ語 A	Reibert, Ronald
	11 ドイツ語 B	元吉 瑞枝
	13 ドイツ語 II	元吉 瑞枝
	14 フランス語 A	砂野 幸稔
	15 実用フランス語 A	砂野 幸稔
	16 フランス語 B	砂野 幸稔
	17 フランス語 A	市川 雅己
	18 フランス語 B	市川 雅己
	健康科学	19 健康科学
文化圏と理解	20 西洋の人間観	篠崎 榮
	21 現代世界と歴史	星乃 治彦
	22 近代日本の歩み	花立 三郎
国際理解	23 民族・宗教と国家	星乃 治彦
	24 中国事情	季 公紳
	25 アメリカ事情	石橋 敏郎
現代の科学 技術と環境	26 バイオテクノロジーと現代生活	岩原 正宣
	27 環境と生物圏	堤 裕昭
	28 現代生活と環境問題	堤 裕昭
	29 生活と化学	野中 敬正
	30 自然環境と化学	園田 頼和

区分	講義名	講師
現代社会の理解	31 現代社会と経済	中宮 光隆
	32 日本の社会構造	米沢 和彦
	33 現代生活と社会政策	久間 清俊
	34 マスメディア論	平野 敏也
	文学	35 西洋文化史
36 日本語史		福田 益和
37 日本文学講義I		竹原 崇雄
38 日本語教授法I		馬場 良二
39 日本語教授法III		馬場 良二
40 現代英語演習I		Kirk, Daniel T.
41 米文学史II		田中 啓介
42 英語史		下瀬 三千郎
43 英語圏文化論		Cleary, Farrell
44 イギリス史		星乃 治彦
45 アメリカ史	星乃 治彦	
生活科学	46 基礎生物学	堤 裕昭
	47 栄養学総論	鈴木 公
	49 生化学	飯尾 雅嘉
	50 住居整備学	石原 修
	51 社会政策論	久間 清俊
52 金融論	中宮 光隆	
53 民法	花谷 薫	
54 社会保障論	石橋 敏郎	
55 生活史	牛島 盛光	
総合管理 学	56 地方自治論	今川 晃
	57 情報処理基礎論	市村 憲治 税所 幹幸 津曲 隆
教育学	59 教育の方法と技術	吉田 道雄
スポーツ	60 第16回スポーツ教室	重松 三和子 福岡義之

用する傾向にある。

これから学生は、企業名、雇用条件だけで企業選択するのではなく、やりたい仕事をはっきりさせるなど、目的意識を持って就職活動をして欲しい。つまり、「就社ではなく、就職を！」。

6月中旬に入り、就職戦線まった中、

学生の活躍に期待する。

[これから求められる人材像]

- ① 人間性豊かな人材 ② 構想力のある人材 ③ 独創性のある人材 ④ 問題発見、解決力のある人材 ⑤ 国際化に対応できる人材 ⑥ リーダーシップを持った人材

進路分類	学部学科			文学部			生活科学部			合計	前年度	大学院 日語日文専攻
	国文	英文	計	食物栄養	生活環境	生活経営	計					
卒業生総数	39	40	79	40	40	47	127	206	210	3		
1 就職希望者数	22	34	56	35	28	37	100	156	174	3		
(1) 就職者数	20	28	48	29	25	29	83	131	144	2		
就職率	90.9%	82.4%	85.7%	82.9%	89.3%	78.4%	83.0%	84.0%	82.8%	66.7%		
(2) 一時的な仕事	1	1	2	3	1	6	10	12	19	0		
(3) 未就職者	2	5	7	3	2	2	7	14	11	1		
2 進学者数	3	1	4	4	1	1	6	10	10	0		
3 無業者数	14	5	19	1	11	9	21	40	26	0		
(1) 公務員・教員再受験	11	3	14	0	8	7	15	29	18	0		
(2) その他	3	2	5	1	3	2	6	11	8	0		

平成7年3月卒業生(43回生)進路状況

※英語英米文学専攻については卒業生なし。

熊本県立大学研究者総覧が 刊行、公表される

本学では平成6年4月、学内に自己点検・評価委員会(委員長は学長)を設置した。以後、その委員会を中心として全学的に本学の教育研究活動の現状を客観的に把握し、大学・学部などの理念・目的との関連において、現状の点検・評価を行うと共に、改善されるべき点を明らかにし、将来的な改革の方向を検討すべく作業を行っている。

その点検成果の第1弾として公表されたのが、自己点検・評価委員会が本学の在籍する教員の研究業績をとりまとめた「熊本県立大学研究者総覧」である。これは、教員の主要な研究業績や現在の研究課題、そして学会や社会における活動状況などが掲載されたA4判・110ページの印刷物で、学内では、図書館や各学部資料室、各教員研究室などで閲覧で

きる。加えて、本学の情報を地域へ発信するために、全国の大学や県内外の高校、県・市町村などの行政機関、公立図書館などにも配布された。



人事異動

【役職紹介】

学 長 手島 孝 (てしま たかし)
 事務局長 國津 英愛 (くにつ ひでとし)
 事務局長 古財 達成 (こさい たつしげ)
 文学部長 重松 裕巳 (しげまつ ひろみ)
 生活科学部長 飯尾 雅嘉 (いのお まさよし)
 総合管理学部長 米澤 和彦 (よねざわ かずひこ)
 附属図書館長 太田 直一 (おおた なおかず)
 学生部長 中宮 光隆 (なかみや てるたか)
 国際情報センター長 下瀬三千郎 (しもせ みちろう)

【教員人事異動について】

氏 名 ① 職名 ② 専門

名誉教授称号授与

えぐち まさひろ
 江口 正弘



採用

■ 文学部

ふくだ よしいちろう
 福田 嘉一郎 ① 講師 ② 日本語学



■ 生活科学部

しらつち ひでき
 白土 英樹 ① 講師
 ② 食品加工貯蔵学



さとう かずえ
 佐藤 佳珠恵 ① 助手
 ② 生活環境学科



こいずみ ゆうこ
 小泉 裕子 ① 助手
 ② 生活環境学科



■ 総合管理学部

あきやま よしふみ
 秋山 喜文 ① 教授
 ② 日本経済論



みやその ひろみつ
 宮園 博光 ① 助手
 ② 情報処理



こいずみ かずしげ
 小泉 和重 ① 助手
 ② 財政学



はらだ ひさし
 原田 久 ① 助手
 ② 行政組織論



■ 外国語教育センター

Ratcliffe, Robert ① 外国語担当教員等
 ② 英語



Mitchell, Sandra ① 外国語担当教員等
 ② 英語



昇 任

■ 文学部

もとよし みずえ
 元吉 瑞恵 ① 教授 ② 独語

退 職

■ 文学部

えぐち まさひろ
 江口 正弘 ① 教授 ② 日本語学

もり ちづる
 森 千鶴 ① 助教授 ② 英語教育学

■ 生活科学部

しよの いちろ
 生野 一路 ① 教授 ② 法社会学

とうや すなお
 東矢 直 ① 教授 ② 食品加工貯蔵学

たなか れいこ
 田中 玲子 ① 助手 ② 生活環境学科

はやし ちづ
 林 千津 ① 助手 ② 生活環境学科

サークル紹介

サッカー同好会

昨年発足し、一年が経過した。部員も25名にまで増え、林主将を中心に抜群のチームワークをみせている。練習は、毎週月・木・金曜日に消防学校で行っており、4月には初の公式試合出場を果たした。残念ながら敗れはしたものの、新たな一歩を踏み出し、今後の活躍がますます楽しみである。



野球同好会

夕暮れ時の学内のグラウンドに元気のいい声が響いている。昨年発足し部員も19名に増え、今年からやっと紅白試合もできるようになった。まだ練習グラウンドがなく、十分な練習はできないが、この一年間で着実に力をつけている。練習は、毎週火・木・土曜日に行っている。秋には第2グラウンドも完成し、サッカー同好会共々専用練習場が確保されることになり、練習にもますます熱が入り、将来五大学野球リーグになることを期待する。

九州地区大学体育大会の開催について 第45回九州地区大学体育大会が、6月26日から宮崎県、大分県の各会場で開催される。昨年は上位に食い込んだサークルがなかっただけに、本年参加するサークルの活躍に期待する。(冬季大会10月29日から)

海外研修報告

『アンニョンハシムニカ いろんな人たち』
文学部助教授 馬場良二

ケイコは3月下旬、ユキコは4月5日だけに韓国へ飛んだ。教師ビザの取得にシビレをきらし、あわただしい出発だった。

韓国へ留学したのは1994年の4月からの半年間で、籍は姉妹関係にある祥明女子大学だ。通うようになって間もなく、日語日文科の事務室でペイ先生に出会った。同年輩の「若い」先生で源氏物語が専門だという。「どこに住んでいる」と聞かれて「テジョンだ」とこたえと、「ボクもです。送みましょう」と言う。その後、一緒にクダラの秘宝探しに山に登ったり、その出身大学の学生の日本語劇の練習を見に連れて行ってもらったりした。学科主任の教授やもっと若い先生にも会った。今いる日本人教師は1994年度で日本へ帰るだろう、そのあとに来る学生はいないか、という。こういうのを日本語で「渡りに船」という。大学院の第1回の卒業生が1995年の3月に出るが、さっそく聞いてみる、ということで、6月の一時帰国の時に「行きたい」と言ったのがケイコだ。

ペイ先生の主宰する勉強会のキホン君とも親しくなった。几帳面で熱心な若いおじさんで、真夜中のキャンパスで後輩への思慕の情をからかったのがきっかけだろうか。11月に教育実習の引率で韓国へ行ったとき呼び出した。大学の同級生のチクス君を紹介してくれた。単語は辞書、「てにをは」は教科書そのまま、着ている上つ張りの袖のたくし上げ方まできちんとしている。会話学校の日本語の先生で、最近はネイティブの教師がいないと学生が集まらない、勤めている学校にも数カ月前に日本人の講師が来たという。

恐ろしく捌(は)けの悪い去年、馬場研究室も御多分に漏れず残ってた。12月の昼下がりチクス君から国際電話が鳴り、「日本人の先生が帰国する、だれか来てくれる人はいないか」と言う。1月からのリクエストを、卒業式まで待たせて結局4月に発ったのがユキコだ。

トモコは4月2日に台湾へ飛んだ。ヒロミはアメリカへ、エリコは中国へそれぞれ夏に発つ。この4月から研究生が中国からひとり韓国から3人来た。去年の10月からは1年間の学部研究生が2人祥明女子大学から来ている。

とどまることを知らない、なんでもあり、それが熊本県立大学日本語教育研究室だ。



キョンボックン(李朝の王宮)内部から見たチュガンパンムルグアン(植民地時代の日本総督府)。チュガンパンムルグアンは王宮の敷地内、門と王宮との間に建てられている。

美慶(ミギョン)さん、あいちゃん。 「日本は蒸し暑くて過ごしにくい。韓国の夏はさわやかですよ」と韓国人は言うが、1994年の夏は暑かった。



4月から単位互換始まる

他大学での授業を履修し、その単位を修得すれば自分の大学の卒業要件単位として認められる「単位互換制度」が熊本大学(法学部)、熊本県立大学(総合管理学部)、熊本学園大学(商学部・経済学部)の4学部間で始まった。実施初年度の本年に、単位互換を利用して受講する学生は、学園大から熊大に7人、熊本県立大学に6人。熊本県立大学から熊大に2人、熊大から学園大に1人となっている。

メッセージコーナー

ネットワーク運営組織から

キャンパスには、コンピュータネットワークが整備され、今話題のインターネットを体験することができます。学生のみなさんも利用できますので、電子メール、ネットニュース、WWWなどにチャレンジして下さい。詳しくは、中央コンピュータ室(内線604)か、netrun@skylark.pu-kumamoto.ac.jpまで電子メールで。

外語センターから

英語字幕付きレーザーディスクが昨年度から視聴可能になりました。生きた英語を楽しみながら身につけるには最適です。ぜひ一度試してみてください。また、英検、TOEFLなどの試験対策用ビデオ、カセットも多数そろえてあります。ただし、ライブラリーには飲食物の持ち込み厳禁です。

図書館から

平成7年4月29日に、本学の同窓会である紫苑会より457冊の図書が寄贈されました。文学を始め社会科学、自然科学、生活科学及び芸術関係等幅広い分野の図書となっております。これらは紫苑会文庫として図書館2階に配架されておりますので、ご利用下さい。

学生部から

平成6年度から学生相談室を設置し、人間関係、経済的問題、学業、留学、就職、進学など学生生活の中でのあらゆる悩み、相談に応じています。気軽に訪ねて下さい。

日時/毎週火曜日 13:00~17:00
※夏季・冬季・春季休業期間及び定期試験期間中は除く

場所/総合管理学部棟2階
カウンセリング室

熊本県立大学の主な行事
(H 7. 4. ~ 9.)

- 4月 10日 在学生授業開始
12日 入学式
新入生オリエンテーション
(~13日)
14日 新入生授業開始
インカレ団結式
17日 4年次進路面接 (~24日)
28日 学生健康診断
- 5月 2日 開学記念日
20日 体育祭 (球技大会)
- 6月 5日 夏期講座申込受付 (~19日)
24日 平成7年度祥明女子大学校
短期研修団来校 (~7月3日)
下旬 インカレ (~8月上旬)



- 7月 11日 夏季休業 (~9月10日)
中旬 平成8年度特別選抜募集要項発表
一般選抜入試の概要公表
県内留学生との交流会
27日 オープンキャンパス
(高校教員向け)
- 8月 4日 オープンキャンパス (一般向け)
21日 第1回夏期講座 (~25日)
28日 第2回夏期講座 (~9月1日)
- 9月 11日 授業開始

お知らせ

学内LANの伝言板システム(ねつとばーど)が改善されました。各種会議・行事日程などのメニューが用意されています。学生のみならずで利用できるのは、いまのところ、この「学報」に関する会議室だけです。要望により新しい会議室や休講のお知らせなどのサービスを増やしていきたいと考えていますので、スオベ(bonten@pu-kumamoto.ac.jp)までメールを下さい。



熊本県立大学